



TOKOROZAWA

所沢駅周辺まちづくり基本構想

－ 協働（パートナーシップ）によるまちづくりの指針 －

平成 21 年 6 月

所 沢 市

所沢駅周辺まちづくり基本構想

－ 協働（パートナーシップ）によるまちづくりの指針 －

所沢駅周辺まちづくり基本構想の策定にあたって



私たちのまち所沢の表玄関であります所沢駅は、明治28年3月に当時の川越鉄道（現在の西武新宿線）の駅として開設され、同駅から銀座通り周辺にかけては、鉄道や道路の発達などにより、本市の発展の中心的な役割を担ってまいりました。

所沢駅周辺のまちづくりにつきましては、昭和61年4月に所沢駅西口第一種市街地再開発事業による再開発ビル（愛称：ワルツ）がオープンし、同年11月には所沢駅東口土地区画整理事業の換地処分が行われ、日東地区や所沢駅西口地区のまちづくりの検討、さらに西武鉄道㈱による所沢駅東口計画の検討が進められているところです。

そうした中、平成18年2月に、市議会「所沢駅周辺のまちづくり推進に関する特別委員会」から『所沢駅周辺のまちづくりに関する提言』が示され、これを受けて、平成19年1月には、庁内の関係部署の協議により、「所沢駅周辺のまちづくり推進に関する市の取組みについて（取組方針）」を策定するとともに、総合的な取組みに向けての検討を行ってまいりました。

これらの経過を経て、マニフェストに掲げております『所沢駅周辺のまちづくり（市民参加型のまちづくりを市主導で早期に誘導します）』を念頭に、地元の町内会・商店会をはじめとする多くの関係する方々にご参加いただいた「所沢駅周辺まちづくり基本構想策定協議会」において熱心な議論をいただき、このたび、今後の所沢駅周辺の総合的なまちづくり推進の指針となります「所沢駅周辺まちづくり基本構想」を策定いたしました。

今後におきましては、本基本構想に基づき、まちづくりの将来像に掲げました『市の表玄関にふさわしい魅力と活力あふれる新生活拠点』形成の実現に向け、まちづくりの推進に取り組んでまいりますので、市民の皆様をはじめ関係各位の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本基本構想の策定にあたり、所沢駅周辺まちづくり基本構想策定協議会の委員の皆様をはじめ、貴重なご意見やご提案をお寄せいただきました市民の皆様に対しまして、心からお礼を申し上げます。

平成21年6月

所沢市長 当 麻 よし子